

第7回運営推進会議 資料

事業所名	地域密着型通所介護 レコードブック川越大手町
担当者	管理者 古嶋 洋基
所在地	川越市大手町8-6カーサボスコ1階T-103
開催日時	令和5年4月27日 木曜日 PM2:30～
開催場所	レコードブック川越大手町
出席者及び 議事録送付先	当職員:小椋、福原、加納 看護師5名 ドライバー1名 (計12名 後日情報共有)
	ご利用者代表 塩島 博子 様 川越市地域包括支援センターきた 瓜生 愛子 様 川越市自治会 第四支会 山崎 耕一郎 様 川越市民生委員 水村 富美子 様 (ご欠席)
当事業所の運 営業況	令和5年3月31日現在 利用者登録人数 110名(男性29名、女性81名) 平均年齢 82.7歳 事業対象者含む要支援の利用者登録人数 53名 要介護の利用者登録人数 57名 介護度の内訳 事業対象者11名、要支援1 24名、要支援2 18名 要介護1 41名、要介護2 9名、要介護3 3名、要介護4 3名、要介護5 1名
行事報告	集団運動 月間テーマ実績 ご利用者の多くが悩んでいることや元気で安全に生活していく為の予防知識を月間テーマに掲げた 運動プログラムと紙芝居による動機づけを行いました。 10月 腰の痛みと上手に付き合いましょう 1月 尿失禁を防止しましょう 11月 外出を楽しんで閉じこもりを防止しましょう 2月 ストレスと上手に付き合いましょう 12月 膝の痛みと上手に付き合いましょう 3月 からだと会話しましょう
主な議題	防災、避難訓練の実施による改善事項 AIを活用した歩行解析アプリ導入の説明
実施内容と 説明	4月25日(火)天候曇り 参加メンバー: スタッフ5名、ご利用者様15名にて避難訓練実施 ①一時避難場所の設定 ⇒ 確保と実施  ※一時避難場所である玄関外に椅子を5脚用意し、最低限座れる場所を確保する様子



※一時避難場所までの誘導の様子

②退避完了までの目標時間7分の設定 ⇒ 全員退避できた時間は4分14秒要したことを確認した。



避難訓練の実施概要は別紙①参照

※2022年に作成した実施概要を一部改版して実施した。

③図上訓練等の設定 ⇒ 前日参加スタッフ全員にて別紙①の内容に関して事前確認を行い当日、シュミレーション通り誘導できるか実施し改善点を洗い出す。

④一時的に退避させた自力困難な方の避難誘導 ⇒ 確認と実施



※今回、ご利用者様2名のみ店舗対面の避難場所(やまぶき会館駐車場)まで誘導を行い誘導時間

を計測した。(2名の方にお問い合わせした目的は、ADLの低いご利用者様を選択してどの程度誘導時間に差があるか検証する為)

- 1名はふらつきのあるご利用者を避難誘導 誘導時間は56秒要した。
- もう1名は多少ふらつきのあるご利用者を避難誘導 誘導時間は30秒要した。

※ このことから、店舗から避難場所までの誘導時間は今回平均して1名あたり概ね43秒要することが確認でき今後の指標となった。

避難場所(やまぶき会館駐車場)
までのルートは右記の通り
移動距離は約40m



【気づき・反省】

- 火災発生時を想定して、トイレを含む全てのドアを開け、完全確認・確保が出来ていなかった。
- 慌ててしまい、当初予定していた①消火器の模擬使用 ②非常ベルの模擬使用 ③模擬の音源を利用しベルを鳴らし、臨場感を高める工程を飛ばしてしまった。
- 誘導の際、玄関出口付近が若干渋滞していた。
- 一時避難場所に誘導完了後、点呼(人数確認)を怠った。
- 一時避難場所に誘導終了後、一旦ご利用者様を席に戻す際、スタッフの誘導が滞ってしまい数名が指示の前に店舗内に戻ってしまった。

【改善点】

全体の訓練内容としては多くの気づきをスタッフ全員で共有する事ができた。

一時避難場所までの退避時間は前回掲げた8分以内の誘導はクリアできたが、上記に挙げた課題も多く残り、次回開催の際は今回の訓練を活かし安全確保と誘導の精度を上げて、防災訓練を実施する。

次回の防災訓練を早期に実施するにあたり今回の反省点を改善点にすべく、改めて実施概要(指南書)を作成(改版)する。

気づき・反省
及び改善

今後の課題	防災訓練の円滑な誘導の難しさと重要性を認識し、いざと言う時にどうすべき行動をとるか明確な、判断をする事
次回の開催 予定	日時:令和5年10月吉日 場所:レコードブック川越大手町 店舗内にて